

# 2024 年度愛光幼稚園事業計画

## 1 施設の基本理念

慈愛園の創立者モード・パウラス先生の言葉である謙遜・献身・愛をもって仕えることを基本理念とし、一人ひとりの個性を大切に適切な環境を構成し、心身共に健やかな人間性の基礎を培う。

## 2 2023 年度の主な取り組み

### (1) 質の向上とチーム力強化

- ・経験年数や職責に応じて外部研修・法人研修ともに積極的に派遣し、専門知識や情報のアップデートを図った。
- ・3 保育所間で連携し、行事内容の情報交換や行事の見学を行うことで自園の振り返りと評価を行った。対面での交流は実施出来なかった。
- ・全職員参加の園内研修を前年度より増やし、職員全体のスキルアップや情報の共有化を図った。また実践研修、ケース検討会、動画や資料を使った振り返りなど園内研修の形式を工夫し実施した。

### (2) 人材確保と定着

- ・新人職員にメンターを配置することで心情や課題を把握し適宜対応することができた。
- ・保育実習受け入れの PR 活動として、3 園合同の PR 資料を作成し県内、県外の養成校に郵送したが実習の申し込み増には至らなかった。
- ・ホームページのブログ記事をこまめにアップし、求人や子育て情報などを含む様々な情報を外部に発信した。
- ・正規職員の充足により 2024 年度の正規職員の新規採用募集は行わなかった。

### (3) 保育環境の充実

- ・保育教材(楽器、玩具、絵本等)の購入、更新を意識的に進めることにより物的環境を充実させることが出来た。楽器についてはまだ不十分な所もあり順次揃えていきたい。
- ・子ども達が安心・安全に活動する為に必要な園庭等の環境整備(砂場の砂の補充、樹木の剪定、新規園庭総合遊具の設置、園庭遊具安全点検、外灯灯具の更新、駐車場白線補修)を行った。
- ・前年度よりはノンコンタクトタイムを確保することが出来たが、計画的な確保は難しかった。
- ・障がい児の受け入れ人数が増え、個別のケースに関しては臨床発達心理士の巡回による専門的な助言・指導や関係機関とのケース会議を行うなど適切に対応した。

### (4) 経営の安定化

- ・年間を通して定員を超える園児数を確保することが出来た為、安定した経営を

行うことが出来た。また園児数に足る職員数の確保ができ、各種加算を得られたことも大きな要因である。光熱水費や消耗品の節約等コスト削減にも努めた  
が、引き続き意識を高めていくことが必要である。

#### **(5) 地域・関係機関との連携**

- ・要保護児童について関係機関とケース会議を行うなど連携を深めながら情報を共有、対応策を協議した。
- ・養成校の保育実習、中高生の職場体験学習を積極的に受け入れた。
- ・校区ネットワーク会の一員として主に園長が育児支援・高齢者支援に加わり活動した。

### **3 2024 年度の実行方針**

#### **(1) 事業の運営に関する方針**

- ①定額利用サービスを導入する。
- ②保育業務の効率化を進める。

<目標>

- ・おしぼり・エプロンの定額利用サービスを導入し 2024 年 4 月より利用開始する(方針(1)①、(1)②関係)。
- ・園行事について前年度の実践を踏まえて検証し、行事内容の整理と見直しを行った上で実施する(方針(1)②、(2)②関係)。
- ・計画的にノンコンタクトタイムを確保する(方針(1)②、(2)①関係)。
- ・業務の効率化の提案を職員に求め、順次実施する(方針(1)②、(2)①関係)。

#### **(2) 組織の管理運営に関する方針**

- ①働きがいのある職場環境を構築する。
- ②保育の質の向上を目指す。

<目標>

- ・全職員年 10 日以上の子休取得 80%を目指す(方針(2)①、(2)②関係)。
- ・3 保育所の交流を含めた園内研修の充実と外部研修への更なる参加を進める(方針(2)①、(2)②関係)。
- ・非常勤職員の意見交換会を新たに実施する(方針(2)①、(2)②関係)。

#### **(3) 経営（財務基盤強化、利用者確保など）に関する方針**

- ①定員充足率 100%以上を維持する。
- ②歳出削減を図る。
- ③外部に対する情報発信を強化する。

<目標>

- ・毎月定員 90 名以上の園児数を確保、維持する(方針(3)①関係)。
- ・照明を LED 化することにより電気代の大幅な削減を目指す(方針(3)②、(4)関係)。

- ・利用希望者や就職希望者を念頭に置いたホームページや SNS の活用による情報発信の強化を図る(方針(3)①、(3)③関係)。
- ・園のしおり(パンフレット)のリニューアルを行う(方針(3)①、(3)③関係)。

#### (4) 重要な施設整備や機械導入等に関する方針

保育環境の充実や安全性向上等の為の整備を行う。

<目標>

- ・施設内の照明の LED 化工事を行う(方針(3)②、(4)関係)。
- ・劣化、故障など対応が必要な箇所の整備を必要に応じて行う(方針(4)関係)。

#### (5) その他

地域交流(育児支援、高齢者支援)を促進する。

<目標>

- ・コロナウイルス感染対策により自粛していた地域の高齢者との交流を再開する(方針(5)関係)。
- ・地域の子育て世帯との交流を積極的に図る(方針(3)①、(3)③、(5)関係)。

### 4 2024 年度の具体的な取組

(1) 3歳未満児が毎日使用するおしぼり・エプロンの定額利用サービスの導入(方針(1)①、(1)②関係)。

- 保護者に説明し同意を得たのち申し込みを募り、希望者の利用を開始する(4月～)。

(2) 行事内容の観なおしと整理(方針(1)②、(2)②関係)

- リーダー職員による行事内容検討会議を行う(4月～)。
- 行事内容検討会議で整理した課題や案を全体の職員会議で協議し意見をまとめる(月1回)。
- それぞれの行事担当責任者を中心に行事を実施し、行事終了後には変更点の事後評価を行い次年度に繋げる(都度)。

(3) ノンコンタクトタイムの確保(方針(1)②、(2)①関係)

- 計画的なノンコンタクトタイムに対応できるよう予め職員を配置し、園児から離れて保育業務を効率的に行う時間を確保する(年間通して)。

(4) 作業業務の見える化(方針(1)②関係)

- 園全体に係る清掃等の作業業務を表にまとめ、遂行する上で各々が把握や確認が出来るよう見える化する(年間通して)。

(5) 風通しのよい職場づくりの推進(方針(1)②、(2)①、(2)②関係)

- 職員の階層別の意見交換会を年間を通して設け、自身の課題や日常の保育業務の疑問、業務効率化への提案など幅広く意見交換する(年間を通して)。
- 常勤職員の実施に加え非常勤職員の意見交換会も新たに実施する(年間を通して)。

して)。

- 報告内容を組織作りや運営に生かし、業務効率化の提案は内容を検討した上で必要なものから順次実施する(年間を通して)。

#### (6) 3 保育所の交流とスキルアップ(方針(2)①、(2)②関係)

- 各園の行事や活動内容の情報交換を資料に基づいて行う(3園と協議により開催時期を決定する)。
- 管理職、ベテラン、中堅、若手など階層別に3園の職員が集い意見交換する(3園と協議により開催時期を決定する)。

#### (7) 情報発信の強化(方針(3)①、(3)③関係)

- インスタグラムの担当者の選定と情報配信開始(4月～)。
- 自園のホームページのブログとインスタグラムを連動しながら情報をアップしていく(週1回以上)。
- 園案内のしおり(パンフレット)の記載内容やレイアウト等を練り直し、できるだけ早くリニューアルする。また出来次第ブログやインスタグラムにもアップする(出来るだけ早く)。

#### (8) 施設整備等(方針(3)②、(4)関係)

- エアコン圧縮機整備作業(耐用年数期限による更新。夏季までに実施)。
- 照明器具 LED 化工事(熊本市省エネルギー機器等導入推進事業補助金活用予定。補助金確保の目途が立ち次第実施)。

#### (9) 地域在住の高齢者との交流再開(方針(5)関係)

- 高齢者との交流を園で行う(7月)。
- 独居高齢者の集いに参加し、一人暮らしの高齢者との交流を行う(11月)。

#### (10) 地域在住の子育て世帯との交流(方針(3)①、(3)③、(5)関係)

- 校区の子育てサークルに職員と園児が参加し交流する。(12月)
- 校区の子育ての集いに職員が参加し育児の助言等を行う(年1回開催)。
- ホームページやインスタグラムで園開放(未就園児遊び体験等)のPRを行う(年間を通して)。